



東陽病院内科医師 宇野史洋

健康ウォッチング

横芝町のみなさん、こんにちは。久しぶりに出てきました。今回は、私が普段考えている極めて個人的な見解を述べたいと思います。最後までお付き合いいただければ幸いです。

でないときは逆です。要するに患者さんは勝手に治るというのが持論です。運良く患者さんが治れば、ほっとするだけです。治ってくれてありがとうと思えます。小心者で臆病な顔を隠して少し虚勢を張って仕事しています。

癌で他界しましたが告知できませんでした。でも、知っていたと思います。患者さんは自身の病態とご家族の気持ちとが判ってしまような気がします。辛さを和らげるために薬剤を用いて、仮に死期が早まってもやむなしと考えます。でも、安楽死を推進する度胸はありません。そんなことを考えながら仕事しています。

たくさん患者さんを看取りました。その度に思うのは、医師の無力さです。

4月に転勤で当院を去ることになりました。7年間いろいろと本当にお世話になりました。私の他、整形外科栗原、高森、外科松本の各医師が異動します。いろんな医師がいていろんな治療があります。新しく来る医師にご期待ください。

治療する所です。でも、治す所ではないと思っています。なぜって医師が治せる病気なんてほんの一握りしかないからです。癌もかぜも治せません。癌は早期で発見すれば治りますがこれはなかなか難しい。かぜは症状を抑えるだけで、体の免疫がウイルスを排除して治る、つまり医師ではなく患者自身が治すのです。

ひ とり ご と
は大切ですが、残されたご家族も大切です。ご家族が悔いなく介護できたと思えることが重要です。そのための時間を得るためには努力します。告知には私は消極的です。ご家族を無視して告知する大病院のやり方に懐疑的です。ご家族の討議があるべきと思います。父は一昨年膝

辛い検査や治療は不要と思います。患者さん本人は大切ですが、残されたご家族も大切です。ご家族が悔いなく介護できたと思えることが重要です。そのための時間を得るためには努力します。告知には私は消極的です。ご家族を無視して告知する大病院のやり方に懐疑的です。ご家族の討議があるべきと思います。父は一昨年膝

では患者を治せない医師が病院で何をすべきなのでしょう？私は、病院は患者さんが治ろうと努力するのを手伝い、治らないなら苦しみを和らげる所と考えます。自分が治したなどは口が裂けても言えません。良くなる時はどう治療してもたいがい治り、そう

は大切ですが、残されたご家族も大切です。ご家族が悔いなく介護できたと思えることが重要です。そのための時間を得るためには努力します。告知には私は消極的です。ご家族を無視して告知する大病院のやり方に懐疑的です。ご家族の討議があるべきと思います。父は一昨年膝



子どもの誤飲

小さな異物の場合



好奇心が強い幼児は何でも口に入れてしまいます。子どもの小さな口やのどは意外に柔軟。おもちゃのミニカーを丸ごと飲み込んでしまったという例もあり、大人の目配りが大切です。

小さなボタンなどの異物を飲み込んだ場合、ほとんどがそのまま大便と一緒に排せつされるので、さほど心配はいりません。しかし、むせたりせき込んだりしているときは気管に入ったおそれがあるので、すぐに病院で診察を受けさせましょう。呼吸困難や窒息の症状がある場合には、すぐ救急車を呼んでください。

画びょうやホチキスの針など尖ったものを飲み込んだときは、無理に吐かせるとのどや食道を傷つけてしまいます。吐かせず、静かに病院へ運んでください。

水性絵の具は、少しくらいなめても心配はありません。しかし、油性絵の具は中毒の危険があるので、水を飲ませて（牛乳はだめ）吐かせ、すぐに病院へ。クレヨン、水か牛乳を飲ませて吐かせ、様子を見ますが、ほとんどの場合、害はありません。

電池を飲み込む事故も多発しています。中でも危険なのが、ボタン電池。大便と一緒に排せつされることもあります。食道や胃の中で止まってしまったり放電したり中身が漏れて粘膜が傷ついたり、最悪の場合は胃に穴が空くことも。子供が電池を飲み込んでしまったら、すぐに病院へ連れて行き、適切な処置を受けさせましょう。

意外に危険なのが、ピーナッツなどの硬い豆類。かむと細かくくだけ、小片が気管に入ってしまうと、肺などに炎症を起こすことがあります。硬いナッツを子どもに与えるのは避けてください。もし口にして、むせたりせき込んだりする場合は、病院へ連れて行くようにしましょう。

